

経営比較分析表

新潟県 南魚沼市

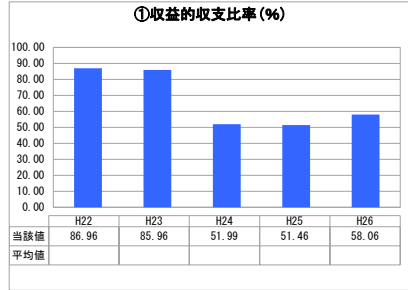
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	0.34	100.00

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,636	584.55	102.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
200	0.07	2,857.14

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



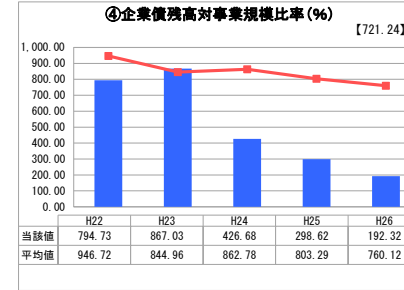
「単年度の収支」



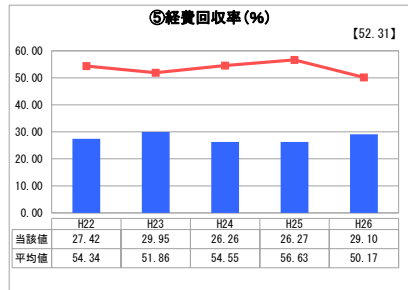
「累積欠損」



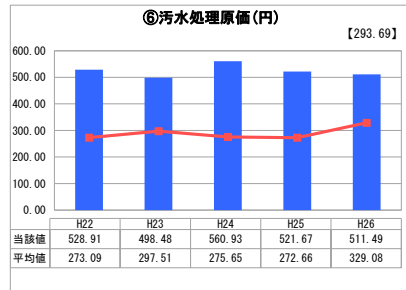
「支払能力」



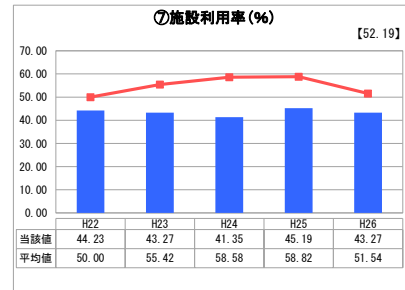
「債務残高」



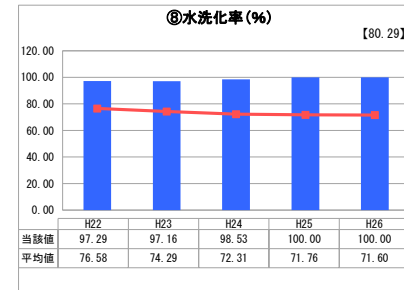
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

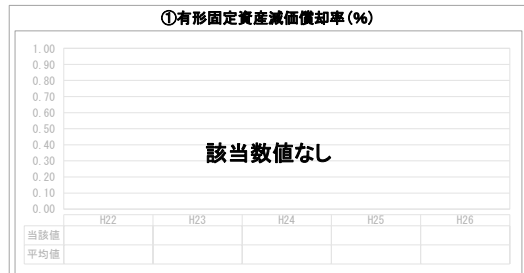


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

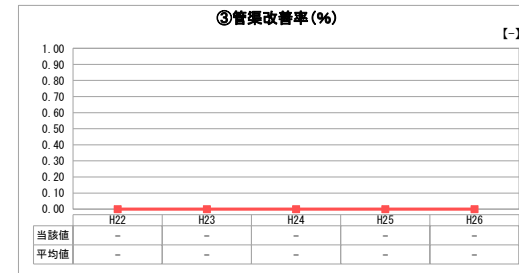
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体に比べ、汚水処理原価は高めであり、経費回収率は低めであることから、類似団体に比べ小規模世帯が多く、維持管理費の割には料金収入が少ない状況にある。

水洗化率は100%と整備・接続は完了状態であり、施設利用率は50%程度と低い状況にある。これは、浄化槽という個別処理のためであり他団体と大きく異なるものではない。

また、今後浄化槽の新規設置は特定地域生活排水処理事業により実施するため、起債の新規借り入れは無く、起債の償還に伴い今後も企業債残高対事業規模比率は低下傾向にある。

収益的収支比率・企業債残高対事業規模比率は平成24年度より半減しているが、これは一般会計からの繰入金集計方法の差によるものであり、費用・起債償還金には大きな差異はなく、経費回収率・汚水処理原価にも大きな変動はない。

2. 老朽化の状況について

浄化槽の設置は平成14年度からであり、浄化槽本体は比較的長寿命であると見込まれることから、当面浄化槽本体についての更新等は不要であり、プロワ―交換等の維持管理が主となる。

全体総括

他団体に比べ汚水処理原価が高く、経費回収率は低い傾向にある。これは、郊外の少人数世帯がより多く、使用料が少なめである事が原因と思われる。この傾向は続くものと思われる。

下水道事業は、市民生活の根幹にかかわる社会インフラであり高額の投資を要するが、料金面では市民生活への影響が大きい事から値上げは困難であり、必ずしも経営面で健全であることは困難であるが、今後も出来るだけ効率的な維持管理に努めることとしたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。